

マタイによる福音書

マタイによる福音書

5

1 イエスはこの群衆を見て、山に登り、座につかされると、弟子たちがみもとに近寄ってきた。  
2 そこで、イエスは口を開き、彼らに教えて言われた。

3 「こころの貧しい人たちは、さいわいである、天国は彼らのものである。」

4 悲しんでいる人たちは、さいわいである、

彼らは慰められるであろう。

5 柔和な人たちは、さいわいである、

彼らは地を受けつぐであろう。

6 義に飢えかわいている人たちは、さいわいである、

彼らは飽き足りるようになるであろう。

7 あわれみ深い人たちは、さいわいである、

彼らはあわれみを受けるであろう。

8 心の清い人たちは、さいわいである、

彼らは神を見るであろう。

9 平和をつくり出す人たちは、さいわいである、

彼らは神の子と呼ばれるであろう。

10 義のために迫害されてきた人たちは、

さいわいである、

天国は彼らのものである。

天の報い大きい。

11 わたしのために人々があなたがたをののしり、また迫害し、あなたがたに対し偽って様々な悪口を言う時には、あなたがたは、さいわいである。  
12 喜び、よろこべ、天においてあなたがたの受ける報いは大きい。あなたがたより前の預言者たちも、同じように迫害されたのである。

天国に入った者

善い行い

5

13 あなたがたは、地の塩である。もし塩のききめがなくなつたら、何によってその味を取りもどされようか。もはや、なんの役にも立たず、ただ外に捨てられて、人々にふみつけられるだけである。

14 あなたがたは、世の光である。山の上にある町は隠れることができない。

15 また、あかりをつけて、それを柵の下におく者はいない。むしろ燭台の上において、家の中のすべてのものを照らせるのである。

16 そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かし、そして、人々があなたがたのよいおこないを見て、天にいますあなたがたの父をあがめるようにしなさい。

17 わたしが律法や預言者を廃するためには、と想ってはならない。廃するためではなく、成就するためには、一面もすたすたすることはなく、ことごとく全うされるのである。

18 よく言っておく。天地が滅び行くまでは、律法の一点、

19 それだから、これらの最も小さいましめの一つでも破り、またそうするよう人に教えたりする者は、天国で最も小さい者と呼ばれるであろう。しかし、これをおこないまたそう教える者は、天国で大いなる者と呼ばれるであろう。

20 わたしは言っておく。あなたがたの義が律法学者やパリサイ人の義にまさっていなければ、決して天国に、はいることができない。

天の栄光

天の栄光

マタイによる福音書



裁判官を食ら

7:1-2

21 昔の人々に「殺すな。殺す者は裁判を受けねばならぬ」と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。

22 しかし、わたしはあなたがたに言う。兄弟に対して怒る者は、だれでも裁判を受けねばならない。兄弟にむかって愚か者と言う者は、議会に引きわたされるであろう。また、ばか者と言う者は、地獄の火に投げ込まれるであろう。

23 だから、祭壇に供え物をささげようとする場合、兄弟が自分に対して何かうらみをいだいていることを、そこで思い出したなら、

24 その供え物を祭壇の前に残しておき、まず行ってその兄弟と和解し、それから帰ってきて、供え物をささげることになさい。

25 あなたを訴える者と一緒に道を行く時には、その途中で早く仲直りをしなさい。そうしないと、その訴える者はあなたを裁判官にわたし、裁判官は下役にわたし、そして、あなたは罫に入れられるであろう。2025

26 よくあなたに言っておく。最後の「コードラントを支払ってしまいうまでは、決してそこから出てくることはできない。

兄弟和解は (さばくま)

5

33 また昔の人々に「いつわり誓うな、誓ったことは、すべて主に対して果せ」と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。

34 しかし、わたしはあなたがたに言う。いっさい誓ってはならない。天をさして誓うな。そこは神の御座であるから。

35 また地をさして誓うな。そこは神の足台であるから。またエルサレムをさして誓うな。それは「大王の都」であるから。

36 また、自分の頭をさして誓うな。あなたは髪の毛一すじさえ、白くも黒くもすることができない。

37 あなたがたの言葉は、ただ、しかし、否、否、であるべきだ。それ以上に出ることは、悪から来るのである。

6:27-  
主を誓う子  
7:21-23  
主、主

欲望

7:1-17

27 「姦淫するな」と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。

28 しかし、わたしはあなたがたに言う。だれでも、情欲をいだいて女を見る者は、心の中ですでに姦淫をしたのである。

29 もしあなたの右の目が罪を犯させるなら、それを抜き出して捨てなさい。五体の一部を失っても、全身が地獄に投げ入れられない方が、あなたにとって益である。

30 もしあなたの右の手が罪を犯させるなら、それを切って捨てなさい。五体の一部を失っても、全身が地獄に落ち込まない方が、あなたにとって益である。

妻 対女

31 また「妻を出す者は離縁状を渡せ」と言われている。

32 しかし、わたしはあなたがたに言う。だれでも、不品行以外の理由で自分の妻を出す者は、姦淫を行わせるのである。また出された女をめとる者も、姦淫を行うのである。

7:7

38 「目には目を、歯には歯を」と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。

39 しかし、わたしはあなたがたに言う。悪人に手向かうな。もし、だれかがあなたの右の頬を打つなら、ほかの頬をも向けてやりなさい。

40 あなたを訴えて、下着を取ろうとする者には、上着をも与えなさい。2019

41 もし、だれかが、あなたをして一マイル行かせようとするなら、その人と共に二マイル行きなさい。

42 求める者には与え、借りようとする者を断るな。

43 「隣り人を愛し、敵を憎め」と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。

44 しかし、わたしはあなたがたに言う。敵を愛し、迫害する者のために祈れ。

45 こうして、天にいますあなたがたの父の子となるためである。天の父は、悪い者の上にも良い者の上にも、太陽をのぼらせ、正しい者にも正しくない者にも、雨を降らして下さるからである。

46 あなたがたが自分を愛する者を愛したからとて、なんの報いがあるか。そのようなことは取税人でもするではないか。

47 兄弟だけにあいさつをしたからとて、なんのすぐれた事をしていだろうか。そのようなことは異邦人でもしているではないか。

48 それだから、あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい。

7:11 悪者で  
敵  
7:154  
救よ  
悪人



1 自分の義を、見られるために人の前で行わないように、注意しなさい。もし、そうしないと、天にいますあなたがたの父から報いを受けることがないであろう。  
 2 だから、施しをする時には、偽善者たちが人にほめられるため会堂や町の中でするように、自分の前でラッパを吹きならすな。よく言っておくが、彼らはその報いを受けてしまっている。  
 3 あなたは施しをする場合、右の手のしていることを左の手に知らせな。  
 4 それは、あなたにする施しが隠れているためである。すると、隠れた事を見ておられるあなたの父は、報いてくださるであろう。

5 また祈る時には、偽善者たちのようにするな。彼らは人に見せようとして、会堂や大通りのつじに立って祈ることを好む。よく言っておくが、彼らはその報いを受けてしまっている。  
 6 あなたは祈る時、自分のへやにはいり、戸を閉じて、隠れた所においでになるあなたの父に祈りなさい。すると、隠れた事を見ておられるあなたの父は、報いてくださるであろう。

7 また、祈る場合、異邦人のように、くどくどと祈るな。彼らは言葉かすが多ければ、聞きいれられるものと思っている。  
 8 だから、彼らのまねをするな。あなたがたの父なる神は、求めない先から、あなたがたに必要なものはご存じなのである。  
 9 だから、あなたがたはこう祈りなさい、天にいますわれらの父よ、

御名があがめられますように。  
 10 御国がきますように。  
 みところが天に行われるとおり、  
 地にも行われますように。  
 11 わたしたちの日ごとの食物を、  
 きょうもお与えください。  
 12 わたしたちに負債のある者をゆるしましたように、  
 わたしたちの負債をおゆるしてください。  
 13 わたしたちを試みに会わせしないで、  
 悪しき者からお救いください。

14 もしも、あなたがたが、人々のあやまちをゆるすならば、あなたがたの天の父も、あなたがたをゆるして下さるであろう。  
 15 もし人をゆるさないならば、あなたがたの父も、あなたがたのあやまちをゆるして下さらないであろう。

16 また断食をする時には、偽善者がするように、陰気な顔つきをするな。彼らは断食をしていることを人に見せようとして、自分の顔を見苦しくするのである。よく言っておくが、彼らはその報いを受けてしまっている。

17 あなたがたは断食をする時には、自分の頭に油を塗り、顔を洗いなさい。  
 18 それは断食をしていることが人に知れないで、隠れた所においでになるあなたの父に知られるためである。すると、隠れた事を見ておられるあなたの父は、報いてくださるであろう。

19 あなたがたは自分のために、虫が食い、さびがつき、また、盗人らが押し入って盗み出すような地上に、宝をたくわえてはならない。  
 20 むしろ自分のため、虫も食わず、さびもつかず、また、盗人らが押し入って盗み出すこともない天に、宝をたくわえなさい。  
 21 あなたの宝のある所には、心もあるからである。

22 目はからだのあかりである。だから、あなたの目が澄んでおれば、全身も明るいだろう。  
 23 しかし、あなたの目が悪ければ、全身も暗いだろう。だから、もしあなたの内なる光が暗ければ、その暗さは、どんなであろう。

24 だれも、ふたりの主人に兼ね仕えることはできない。一方を憎んで他方を愛し、あるいは、一方に親しんで他方をうとんじるからである。あなたがたは、神と富とに兼ね仕えることはできない。  
 25 それだから、あなたがたに言っておく。何を食べようか、何を飲もうかと、自分の命のことで思いわずらい、何を着ようかと自分のからだのことで思いわずらうな。命は食物にまさり、からだは着物にまさるではないか。

26 空の鳥を見るがよい。まくことも、刈ることもせず、倉に取りいれることもしない。それなのに、あなたがたの天の父は彼らを養って下さる。あなたがたは彼らよりも、はるかにすぐれた者ではないか。

27 あなたがたのうち、だれが思いわずらったからとて、自分の寿命をわずかでも延ばすことができようか。

28 また、なぜ、着物のことで思いわずらうのか。野の花がどうして育っているか、考えて見るがよい。働きもせず、紡ぎもしない。

29 しかし、あなたがたに言うが、栄華をきわめた時のソロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった。

30 きょうは生えていて、あすは炉に投げ入れられる野の草でさえ、神はこのように装って下さるのなら、あなたがたに、それ以上よくして下さらないはずがあるろうか。ああ、信仰の薄い者たちよ。

31 だから、何を食べようか、何を飲もうか、あるいは何を着ようかと言っと思わずらうな。

32 これらのものはみな、異邦人が切に求めているものである。あなたがたの天の父は、これらのものが、ことごとくあなたがたに必要であることをご存じである。

33 まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものは、すべて添えて与えられるであろう。

34 だから、あすのことを思いわずらうな。あすのことは、あす自身が思いわずらうであろう。一日の苦勞は、その日一日だけで十分である。



7

2119

- 1人をさばくな。自分がさばかれたいためである。
- 2あなたがたがさばくそのさばきで、自分もさばかれ、あなたがたの量るそのはかりで、自分にも量り与えられるであろう。
- 3なぜ、兄弟の目にあるちりを見ながら、自分の目にある梁を認めないのか。
- 4自分の目には梁があるのに、どうして兄弟にむかって、あなたの目からちりを取らせてください、と言えようか。
- 5偽善者よ、まず自分の目から梁を取りのけるがよい。そうすれば、はっきり見えるようになって、兄弟の目からちりを取りのけることができるだろう。

6聖なるものを犬にやるな。また真珠を豚に投げてやるな。恐らく彼らはそれらを足で踏みつけ、向きなおってあなたがたにかみついてくるであろう。

7求めよ、そうすれば、与えられるであろう。捜せ、そうすれば、見いだすであろう。門をたたけ、そうすれば、あけてもらえるであろう。

8すべて求める者は得、捜す者は見だし、門をたたく者はあけてもらえるからである。

9あなたがたのうちで、自分の子がパンを求めるのに、石を与える者があろうか。

10魚を求めるのに、へびを与える者があろうか。

11このように、あなたがたは悪い者であっても、自分の子供には、良い贈り物を知っているとすれば、天にいますあなたがあたの父はなおさら、求めてくる者に良いものを下さらないことがあろうか。

12だから、何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもそのとおりにはせよ。これが律法であり預言者である。

7

13狭い門からはいれ。滅びにいたる門は大きく、その道は広い。そして、そこからはいつて行く者が多い。

14命にいたる門は狭く、その道は細い。そして、それを見いだす者が少ない。

2143

15にせ預言者を警戒せよ。彼らは、羊の衣を着てあなたがたのところに来るが、その内側は強欲なおおかみである。

16あなたがたは、その実によって彼らを見わけるのである。茨からぶどうを、あざみからいちじくを集める者があろうか。

17そのように、すべて良い木は良い実を結び、悪い木は悪い実を結ぶ。

18良い木が悪い実をならせることはないし、悪い木が良い実をならせることはできない。

19良い実を結ばない木はことごとく切られて、火の中に投げ込まれる。

20このように、あなたがたはその実によって彼らを見わけるのである。

21わたしにむかって「主よ、主よ」と言う者が、みな天国にはいるのではなく、ただ、天にいますわが父の御旨を行う者だけが、はいるのである。

22その日には、多くの者が、わたしにむかって「主よ、主よ、わたしたちはあなたの名によって預言したではありませんか。また、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって多くの力あるわざを行ったではありませんか」と言うであろう。

23そのとき、わたしは彼らにはっきり、こう言おう、「あなたがたを全く知らない。不法を働く者どもよ、行ってしまえ」。

24それで、わたしのこれらの言葉を聞いて行うものを、岩の上の上に自分の家を建てた賢い人に比べることができよう。

25雨が降り、洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけても、倒れることはない。岩を土台としているからである。

26また、わたしのこれらの言葉を聞いても行わない者を、砂の上に自分の家を建てた愚かな人に比べることができよう。

27雨が降り、洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけると、倒れてしまう。そしてその倒れ方はひどいのである」。

28イエスがこれらの言を語り終えられると、群衆はその教にひどく驚いた。

29それは律法学者たちのようではなく、権威ある者のように、教えられたからである。

523, 未154

悪者ども

偽預言者